

2023 年度 臨時理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2023 年 8 月 11 日（金）15：00～17：00

開催方法：機械振興会館会場＋Web 会議（Zoom）

現在の理事数 10 名

出席した理事数 7 名

現在の監事数 3 名

出席した監事数 2 名

（順不同、敬称略）

○理事出席（7 名）（Web 出席の場合は氏名後に※）

代表理事（会 長）	佐藤 義則	株式会社サトーラシ
理 事（副会長）（事務局担当）	高須 俊行	富士セイラ株式会社
”（関東支部長）	望月 紀人※	クラウン精密工業株式会社
”（関西支部長）	竹中 佐江子※	株式会社竹中製作所
”	山口 誠一※	株式会社山口ナット
”	樫本 隆之※	株式会社三和鋳螺製作所
”	北井 敬人※	ケーエム精工株式会社

○監事出席（2 名）

監 事	平戸 眞澄	株式会社平戸製作所
”	大橋 真	メイラ株式会社

○理事欠席（3 名）

理 事（副会長）	長谷川 裕恭	株式会社メイドー
”（副会長）	嶋田 守	株式会社フセラシ
”（中部支部長）	安藤 秀文	株式会社アンスコ

○監事欠席（1 名）

監 事	池田 裕之	池田金属株式会社
-----	-------	----------

○議 題 海外生産機械メーカー日本事業所（（株）HYODONG JAPAN）入会について

<協議事項>

- ・会費規定の改正について
- ・評議委員の在り方について
- ・韓国ねじ協会との交流について

<報告事項>

○議 事

高須副会長から定数を確認し、7 名の理事本人が会場または Web 会議にて参加しているので理事会が有効に成立している旨を報告し、その後、会長より、理事会（9/7（木））前にご報告及びご審議頂きたい内容があるので、本日は臨時理事会となった旨説明があった。

続いて会長より開会の挨拶の後、会長が議長となり議事に入った。

議 題 海外生産機械メーカー日本事業所（(株) HYODONG JAPAN）入会について
高須副会長より、資料にもとづき、以下、賛助会員 1 社の入会について説明。
議長より、議場に諮った結果、異議なく全会一致で入会が承認された。

○株式会社 HYODONG JAPAN

代 表 者：代表取締役社長 金 熹 周 様

担 当 者：柳 石 桓 様

従業員数：4 名

業務内容：鍛造設備(フォーマー)販売、メンテナンス

住 所：〒 494-0019 愛知県一宮市蓮池字郷西 48-2

電話番号：0586-82-0231

FAX 番号：0586-82-0232

上記入会による会員数は以下のとおり

正 会 員：140 社（うち団体 5）

賛助会員： 41 社

合 計：181 社

協議事項

- ・会費規定の改正について
- ・評議委員の在り方について
- ・韓国ねじ協会との交流について

議長より、上記 3 件については、本日は出席理事が少ないため決議案件ではなく、意見交換案件とする旨説明。その後意見交換を実施。

その結果、韓国ねじ協会との交流については、出席理事、監事の意見としては、平成時代に、韓国との若手人材同士の交流が実施されたことがあり有意義であった旨の意見が複数あるなど、概ね交流を前向きに検討するべきであるとの意見が多かった。

そして意見集約のため各理事に意見を出して貰うためのメールを発信して、それを元に理事会にて議論することとした。

○報告事項

- ・MF-TOKYO 展示会について

当協会 HP 内、「会報ねじ」にて MF-TOKYO 2023 のレポートを掲載した旨説明した後、展示結果についての概要と経費（7/31 時点）の説明を行った。

MF-TOKYO 参加者を集い、振返り会を行うとともに次回に向けた費用対効果について評価、検証を行う。

- ・ねじ商工連盟総会について

事務局より、以下、ねじ商工連盟総会について報告があった。

○ねじ商工連盟総会

日 時：令和 5 年 8 月 3 日（木） 12：30～15：00

場 所：新横浜 グレイスホテル

議事内容：日本ねじ商業協同組合連合会（以下、ねじ商連）から今後のねじ商工連盟の在り方について、流通に携わるメーカーと議論したいとの要望を受け意見交換を実施。

その結果、当協会側、ねじ商連側がそれぞれ3名程度の代表者で構成する小委員会を組織し、ねじ商工連盟総会のテーマを決めるなど目的をもって事前準備を行って開催していくことを確認。まずは双方で小委員会への代表者選任をした上で、本年中に小委員会を開催することとした。

・EU-CBAM（経済産業省委託事業）について

事務局より、EUよりEU-CBAM（※）に対するパブリックコメントが求められたことにより、会長名で7月11日パブリックコメント提出した旨報告。

また、経済産業省では、EU-CBAMへの対策として炭素排出量の算定方法について外部機関へ調査事業を委託することになり、当協会への協力依頼があった旨説明。今後、経済産業省と外部委託先の野村総合研究所と協議しながら委託事業に協力する旨説明。

※ EU-CBAM: CBAMとは炭素国境調整メカニズム(Carbon Border Adjustment Mechanism)の略称。EUでは、EU域内への輸入品に関して、EUの炭素価格基準によるコストの負担を輸入者に求める新しい炭素国境調整メカニズムの規制案を公表

・ドイツねじ協会との交流について

事務局より、日本ねじ研究協会主催のISO/TC2国際会議が、10/16～10/20 東京機械振興会館で開催され、ドイツねじ協会代表も来日予定。

国際会議では10/16（月）17：00～ ウェルカムパーティーが開催され当協会代表者も出席予定のためまずは本パーティの中で交流したい旨報告。

・賛助会員との技術情報交換会について

事務局より、技術委員会事業として、賛助会員の持つねじ製造関連技術がねじ製造現場の技術力向上にとって非常に重要であるとの観点から新製品開発等に繋げるための当協会正会員と賛助会員との情報交換（相談）の場を設けることを説明。

そして、第一回目として、以下のとおり、名古屋に於いて、正会員とねじ製造機械メーカー2社との技術情報交換会を実施する旨報告。

第一回目 技術情報交換会：2023年9月7日（木）15：00～ 名鉄グランドホテル

・関西支部懇談会について

2023年10月26日（木） 13：30～ 日東精工（株）（関西支部正会員）見学
18：30～ 懇親会 大阪 「北瑞苑」

・JIS見直し調査について

事務局より、JIS規格は、5年に一度見直しを実施しなければならないとされており、2024年度に見直し期限が到達するJIS規格について、経済産業省（一般財団法人日本規格協会経由）から意見照会を求められている旨説明。

当協会が管理するJIS規格は1件（JIS B1215:1976）であるがこの規格は廃止をする予定で、会員にアンケートを実施する。

これを機に、本来はJIS規格に基づく製造者の団体である当協会がJIS規格を管理すべきであるとの観点から、ねじのJIS規格を管理している日本ねじ研究協会とも協議の上、当協会が管理すべき規格があるか検討を進めたい旨説明。

・（一社）特殊鋼倶楽部からの調査依頼について

事務局より、（一社）特殊鋼倶楽部では5年に一度「特殊鋼の最終需要用途別実態調査」を実施しており、本年度、特殊鋼を素材とした製品を生産する業界として当協会への調査協力依頼があり前回同様、今回も本調査への協力をお願いする旨説明。

・今後の予定について

今後の予定について以下のとおり確認した。

【2023 年】

9 月 7 日（木）	理事会（於：名鉄グランドホテル）	13:00～
〃	賛助会員との技術交換会（同上）	15:00～（終了後懇親会）
10 月 26 日（木）	関西支部工場見学会（日東精工(株)見学）	13:00～（終了後懇親会）
11 月 14 日（火）	中部支部懇談会・懇親会（工場見学等別途案内送付予定）	
12 月 7 日（木）	理事会・忘年会	
12 月 15 日（金）	関東支部懇談会及び忘年会（行事内容検討中）	

【2024 年】

1 月 18 日（木）	新年賀詞交歓会（於：品川プリンスホテル）
3 月 14 日（木）	理事会（於：機械振興会館）

以上で議事の全てを終了し、15：30 に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2023 年 8 月 11 日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 佐 藤 義 則



議事録署名人 高 須 俊 行



議事録署名人 平 戸 眞 澄



議事録署名人 大 橋 真

